

根

津の閑静な住宅街に佇むのは、2013年にソーシャルアパートとしてスタートした「HOTEL GRAPHY NEZU」。その姿を少し変えてホテルとなった今、宿泊者のほとんどが海外からのゲストだそう。それでも宿泊者以外の利用もOKの、朝から晩までオープンするカフェバーには、地元の人から谷根千散策の途中の人まで立ち寄ります。朝は旅立つゲストがモーニングをしたり、昼は近所のママさんたちがランチしに訪れたり、カフェタイムはチェックイン後の旅行者がひと休みしたり、夜は就寝前にお酒をたしなみに来たりといった具合に、シーンごとにさまざまな顔に変身。用意するのは、バーガー系やサンドイッチ、パンケーキなど軽食メニュー。常に外国語が飛び交うここで、海外からのゲストとビールで乾杯すれば、まるで世界を旅している気分になれるかもしれません。



右/下町情緒漂う住宅街の一角に。迷い込みようにたどり着けば、そこはもう海外のホテルのような趣き 中/撮りたてのハムカツバーガー900円、ハートランド(R)600円 左/やわらかな陽が差し込む店内のほか、心地のいいテラス席や、畳が敷かれたスタジオでカフェメニューを楽しむのもOK

ホテル グラフイー ネズ

☎03-3828-7377 東京都台東区池之端4-5-10 営7:00~23:00(フード22:00LO、ドリンク22:30LO) 無休

根津

HOTEL GRAPHY NEZU

さまざまな外国語が飛び交う
ホテルカフェで異文化交流



清澄白河

PITMANS/清洲橋醸造場

清洲橋醸造場が
いよいよ
稼働開始!

カ

フェの街として人気の清澄白河にオープンしたホテル「LYURO 東京清澄」内に、2017年4月に誕生。今年5月からは、待ちに待った「アウグスビール」初のブルワリー。清洲橋醸造所場の稼働がスタート！こちらで味わえるのは、キレのある苦み特徴的な「清洲アンバー」と、パイナップルを思わせるフルーティーさを加えた「中洲ゴールデン」といったPITMANSのオリジナルをはじめ、多様な素材を使い、新しい味への挑戦も忘れない「アウグスビール」によるクラフトビールです。そんなとおきな1杯のお供は、低温でじっくり熟をいれることで甘みと旨みを閉じ込めながら料理する、ブルドポークやスベアリブなどBBQ料理の数々。素材の味わいが引き出された豪快なメニューは、本物の味を追求し続けるブルワリーのビールで満喫して。

ピットマンズ / きよしばしじょうぞうじょ

☎050-3188-8919 東京都江東区清澄1-1-7 LYURO 東京清澄 -THE SHARE HOTELS-2F 営ブレイクファスト7:00~10:00、ランチ11:00~14:30(14:00LO)、カフェ(土日祝のみ)14:30~16:00、ディナー17:00~22:30(22:00LO) 不定休



右/ビールをテイクアウトして、隅田川を間近に感じられるデッキがかわららずに味わうこともできる 左/インダストリアルデザインを採用した店内 下/スモーク盛り合わせ1,404円。ブルドポーク1,620円、中洲ゴールデン(M)972円といったクラフトビールは、常時7タップ揃える



ラウルさんがエストニアのお隣、ラトビアにオープンしたビアバー「Beerfox Artisan Beer Bar」にエストニアをはじめ、ヨーロッパのクラフトビールを中心にラインナップ。日本のクラフトビールもタップで提供している

クラフトビール大国エストニア
今、エストニアには50箇所を超えるブルワリーがありますが、5年前には10箇所以下でした。それぐらいエストニアではクラフトビールがブームを超えて短期間でカルチャーとして根付いたのです。これはヨーロッパの国の中でも珍しいことで、隣のラトビアではまだここまで増えていません。多くのエストニアのブルワリーが国外にも

ストニアにも「ザク市」があつて、2つは姉妹都市だったんです。しかも、エストニアで一番人気があるビールは「ザク・ビール」。これはちょっとした運命だと思つて、日本のクラフトビールをヨーロッパに輸入する会社「BIRU」を立ち上げました。最初はヤッホーブルーイングに直接許可ももらって、実験的に販売を行いました。これが好評で、今ではベアードビールなど様々な日本のビールを扱っています。販売先もスウェーデンやフィンランドなど10カ国に増えました。